東京音楽大学付属民族音楽研究所刊行物リポジトリ

Title	２０２１年度公開講座Ｎｏ.２「打弦楽器の歴史をたどって聞いて見よう、見てみよう、ピアノの源流」報告
Title in another language	A Report of Extension Lecture “Let’s listen, and see the origin of the piano”
Author(s)	坂崎則子 (SAKAZAKI Noriko), 小川美香子 (OGAWA Mikako), 三好美穂 (MIYOSHI Miho)
Citation	伝統と創造=Dento to Sozo, Vol. 12, p. 85-91
Date of issue	2022-03-30
ISSN & ISSN-L	Print edition: ISSN 2189-2350, Online edition: ISSN 2189-2482, ISSN-L 2189-2350
URL	https://tcm-minken.jp/publication/IE_B12202208.pdf

2021年度公開講座 No.2
「打弦楽器の歴史をたどって聞いて見よう、見てみよう、ピアノの源流」報告
A Report of Extension Lecture “Let’s listen, and see the origin of the piano”

坂崎則子　SAKAZAKI Noriko*
小川美香子　OGAWA Mikako**
三好美穂　MIYOSHI Miho***

2021 年度東京音楽大学付属民族音楽研究所主催の公開講座 No.2（2022 年 3 月 10 日、本学 TCM ホール) として、ハックブレット奏者小川美香子氏による講座が開催された。数々の打弦楽器が実演と共に紹介され、ピアノの祖先としての打弦楽器の魅力が様々な体験談と共に語られた。西洋絵画などに描かれてきた楽器の変遷を辿りながら、打弦楽器とリュートの合奏の絵画も紹介して、本学講師リュート奏者水戸茂雄氏との合奏を披露し、当時の趣を会場の聴衆にお伝えした。

紹介された楽器は、復元製作された中世ダルシマー、プサルテリー、バロックサルテリオ、ハックブレットなどの打弦楽器、撥弦楽器の他、鍵盤のついたクラヴィシンバルム、そして日本の古代の琴など多岐にわたる。

キーワード : ピアノの源流 the origin of the piano、ハックブレット hackbrett、
ダルシマー dulcimer、打弦楽器 struck string instruments、
サルテリオ salterio

1. ピアノの源流　坂崎則子

ピアノはいまや音楽に欠かせない、誰もが知る楽器です。そのピアノはいかにしてピアノになっていったのでしょうか。ピアノの祖先はチェンバロと思っている方も多いと思いますが、チェンバロは弦をはじく楽器であり、ピアノは実際には弦をハンマーでたたく楽器です。ですからピアノの直接の祖先として打弦楽器はとても重要な位置にあります。

今回は、その打弦楽器の持つ魅力を探る講座を企画しました。舞台上に並べられた楽器は、講師の小川美香子氏が演奏活動の中で収集された貴重な打弦楽器です。

2.「打弦楽器の歴史をたどって聞いて見よう、見てみよう、ピアノの源流」公開講座の報告　三好美穂

2022 年 3 月 10 日東京音楽大学 TCM ホールにて、上記の公開講座が開かれました。
講座の内容は大きく分けて次の 4 つにまとめられます。

①打弦楽器の歴史、変遷、種類、構造など
②ダルシマーの語源とピアノへの繋がり
③打弦楽器と他の楽器とのアンサンブル（リュートとの合奏）
④打弦楽器を用いた作品例、録音、自身の経験談など

①打弦楽器の歴史、変遷、種類、構造など

1）打弦楽器の歴史と紹介された絵画、彫刻

打弦楽器の最古の資料としてアッシリア (Assyria) の打奏弦楽器（A horizontal harp, **図１**）が紹介された。紀元前 668 ～ 626 頃に栄えたアッシリア帝国の宮殿に描かれた打弦楽器です。しかしこれには諸説あり、現在はダルシマーという見解にはなっていません。

図１ Assyria Harp

次にあげられるダルシマーの資料は、メリザンド・プサルター（Melisende Psalter ロンドン、大英図書館、Egerton MS 1139, **図２**）十字軍のエルサレム王国で、1135年頃にフルク王が妻のメリザンド女王のために依頼した装飾写本。なぜプサルターなのかというと、当時は共鳴箱に弦を張ったものを総称してプサルタリーと表現し、ダルシマーとの区別が曖昧だった為らしい。一般的にダルシマーとプサルタリーは違いが分かりにくく、時代が下るにつれ、バチを持っているのかどうかで、その違いがだんだん明確にわかるようになってきます。

図２ Melisende Psalter

次にルーブル美術館所蔵、千の花のタペストリー / カントリーコンサート (Tapisserie Millefleurs/concert champêtre, **図３**）はダルシマーが描かれているものとして有名なもののひとつ。他の例として、ドイツ人ミヒャエル・プレトリウス（Michael Praetorius）が著した『音楽大全（シンタグマ・ムジクム）』(Syntagma Musicum）の本にもダルシマーが記載されています。

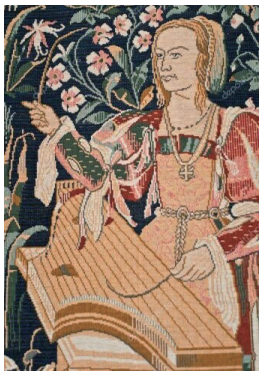

図３ カントリーコンサート

2）復元製作された楽器　時代による変遷と違い

とても興味深いのは、紹介された絵画の中にある楽器とデザインが同じものが目の前にあることです。これらの楽器は、製作者に依頼して絵画をもとにして復元製作されています。時代が下るにつれ、音の数が増えたり、金箔を使い、華やかな装飾が施されたりしたものも増えてきます。一般的に天使が奏する絵画に描かれているものが多くみられます。

・中世ダルシマー

Mary, Queen of Heaven / Master of the St Lucy Legend(c.1480 ～ 1510)

・ルネサンスダルシマー

Adoration of the Child with the Boelen family/ Jacob Cornelisz van Oostsanen (1470-1533)

中世ダルシマー　復元製作楽器↓

Mary, Queen of Heaven/ Master of the St Lucy Legend

ルネサンスダルシマー　復元製作楽器

Adoration of the Child with the Boelen family/Jacob Cornelisz

図４ 中世ダルシマー・ルネサンスダルシマー

・バロックサルテリオ

ライプツィッヒ・グラッシ楽器博物館　18 世紀後半モデルを復元製作

写真1　バロックサルテリオ

3）楽器の呼び方・奏法

ダルシマーは、ドイツ、スイス（ドイツ語圏）などではハックブレット (hackbrett)、イタリア・スペインではサルテリオ (salterio)、フランスではタンパノン / ティンパノン (tympanon) と呼ばれ、木製のバチで叩いて演奏します。サルテリオは指で弾く奏法もあり、パブロ・ミンゲ（Pablo Minguet 1715-1801）が書いた音楽理論書 *Academia musical de los instrumentos* の中にサルテリオを指で演奏している絵が描かれています。指で弾くことで和音も奏でられる効果もあります。

また、パンタレオン・ヘーベンシュトラウト（ドイツ）が生みだしたパンタレオンという大きな楽器があり、その演奏の様子を垣間見ることができるのが、ドイツ人の家具・時計職人がマリーアントワネットに贈ったダルシマーを弾く婦人という機械仕掛けの人形です。パリ工芸博物館　フランス国立工芸院付属の博物館（Musée des Arts et Métiers）所蔵

図5 Academia musical de los instrumentos

4）打弦楽器の構造・音列

今回のこの講座で興味深かった事のひとつに、楽器の音列がそれぞれ違うということがあります。ハンマーダルシマーやサルテリオは、ブリッジという弦を分割する桁があり、左右 5 度の調律（ダイアトニック）で音が並んでいるのに対して、ハックブレットは分割ブリッジがなく音列は交互（クロマティック）に並んでいます。中世ダルシマー、バロックサルテリオも音列は異なります。

楽器によって、音の並びが違うということは、演奏者にとってはとても煩雑です。

5）世界各地の様々な打弦楽器

ダルシマー、サルテリオ、ハックブレットなどの他に、世界中には様々な打弦楽器があり、それぞれの地域で様々な音楽を奏でています。歴史的には、ダルシマーは中東地域から、ヨーロッパに伝わったとされていますが、詳しいことはわかっていません。紹介された楽器は以下のとおりです。

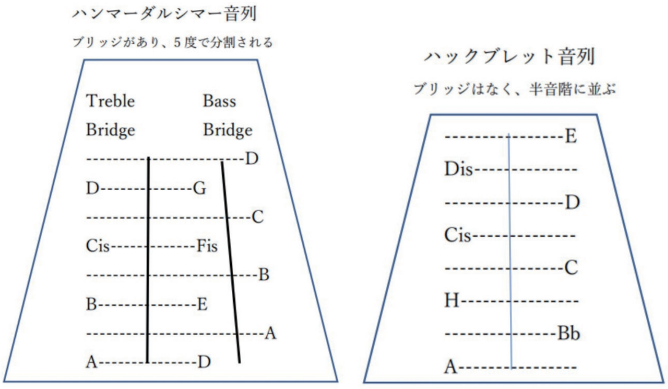

図6　音列の違い

・サントゥール（イラン・インド）santoor,santur
・揚琴・楊琴（中国）yángqín
・ヤングム（韓国）yanggum
・ヨーチン（モンゴル）yoochin
・キム（タイ）kim
・ツィンバロン（中欧、東欧地域）cimbalom
・ハンマーダルシマー（アメリカなど英語圏）
　hammered dulcimer
・琴（日本・弥生時代）koto

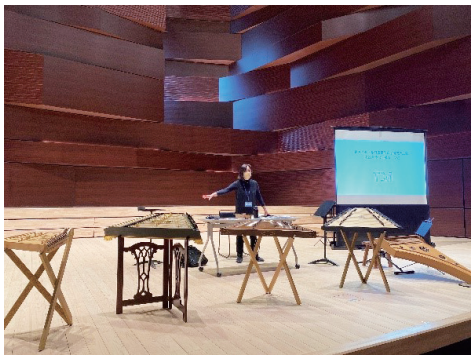

写真２　2022年３月10日　公開講座

②ダルシマーの語源とピアノへの繋がり

ダルシマーの語源は、ラテン語ドゥルチェ・メロス(Dulce melos)と言われています。甘い響きという意味です。この名を持つ鍵盤楽器の設計図がアンリ・アルノー・ド・ツヴォレ(Henri Arnaut de Zwolle c.1440)の著した設計図の中にあり、この資料は最初期の鍵盤楽器に関する最も重要なもののひとつで、打弦式の鍵盤楽器です。

また、このアンリ・アルノーの設計図の中には、他にも最古の鍵盤楽器の設計図とされるものがあり、クラヴィシンバルムといいます。ラテン語でクラヴィスとは鍵であり鍵盤の意味です。この図面には打弦式と撥弦式の鍵盤楽器が描かれ、打弦式はダルシマーの奏法を採り入れて製作されたものと思われます。

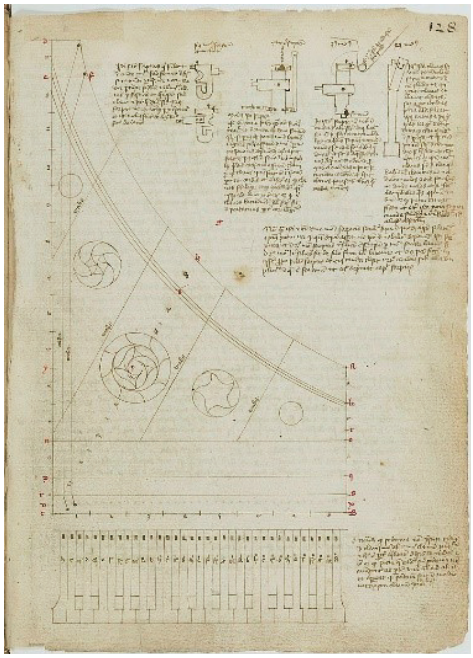

図７　アンリ・アルノー設計図

このように、ピアノの源となる楽器のひとつにはダルシマーという楽器があるのです。一方、撥弦式つまり弦をはじく奏法はチェンバロへと繋がっていきます。

ピアノの祖先を探ると、プサルテリー、ダルシマーなど古代の原始的な弦楽器にたどり着きます。それが翻って、悠久の時を経て現代のピアノにたどり着きます。

③打弦楽器と他の楽器とのアンサンブル（リュートとの合奏）

スペイン・バレンシアの大聖堂での調査中に330年以上埋もれていた天井画が発見されました。ルネサンス時代のフレスコ画で、ダルシマー、リュート、プサルテリーなどを演奏する天使が描かれていました。この例の他にもリュー

Simphonie du tympanum, du luth, et de la flûte d'Allemagne

The music making couple

図８　リュートとダルシマー

トとダルシマーで共演している絵画は沢山あります。同じ弦を張った楽器同士での合奏、叩いて奏でるダルシマーと柔らかく指ではじくリュートとのアンサンブルの演奏は現在耳にすることは多くはないですが、当時の人の合奏の形態としてとても興味深いものがあります。実際に紡ぎだされる音は非常に繊細で、打弦楽器の音は芯が通っており、柔らかく包み込むリュートの伴奏と相まってなんとも心地よい世界です。リュートとダルシマーの合奏は、「音楽をつくる夫婦 the music making couple」という絵画にもみられるように良い相性なのでしょう。「ダルシマー、リュート、フルートのシンフォニー」は 18 世紀初期のお皿にも描かれています。

写真３　リュートとハックブレットの共演（リュート演奏：水戸茂雄氏）

④打弦楽器を用いた作品例、録音、経験談など

小川美香子

打弦楽器には様々な種類があり、楽器によって音列や音階の違いがあります。ハックブレットは全音階が演奏できるので、歌謡曲、ラジオドラマ、ゲーム音楽など様々な録音に参加しました。

1976 年映画「犬神家の一族」テーマ曲にハックブレットが使われています。（※当時のジャケットにはダルシマーと表記されている）この他、久保田早紀さんの《異邦人》など昭和 60 年代には数々の歌謡曲に使用されていました。

写真４　ハックブレット

３，まとめ（総括）

坂崎則子

本学の民族音楽研究所は、当初はアイヌ音楽やガムラン、邦楽器など限られた分野が中心になっていました。最近の傾向としては分野の垣根を取り払い、西洋の楽器（チェンバロ）と邦楽器（琴）を合わせる演奏会も試みられています。「民族音楽」という概念はもっと広くとらえればヨーロッパの音楽も含まれるわけですから、最近は「世界音楽」という呼称でも捉えられるようになってきています。このような見方はまだ始まったばかりですが、明らかにそのようような視野はひろがりつつあります。

20 世紀の間に、西洋音楽の歴史研究も進んできて、専攻としてのチェンバロもカリキュラムで普通に見られるようになりました。そうは言うものの、我が国の音楽大学ではピアノ専攻の学生がかなりの割合を占めており、講義する時に、ピアノはまだまだ発展途上の楽器だったのでバッハは当時ピアノを所有しておらず、チェンバロやクラヴィコード、パイプオルガンなどの鍵盤楽器を使っていたことを話すと、驚く学生達がまだいます。

チェンバロの映像や音はメディアでも多く流れていますが、その構造や響きの特性については解説しなければなりません。そのような現状ですので、特に音大の学生達にとって、今回の講座は貴重なものでした。西洋音楽の枠をはるかに超えた様々な国々の楽器が深く繋がっていることを、これほどまでに実感できたことは実に得難い体験でした。

このような打弦楽器は世界の各地の美術館、博物館には必ずと言ってよいほど展示されています。その中から選りすぐりの楽器をお持ち下さり、間近に見て聞かせていただけた講座でした。学生たちはもとより、いらして下さった多くの方々が、数々の楽器の素敵な音色に魅了され、講座が終わってからも楽器を間近に見に来られました。今後さらにこのような講座が続けられ、日本でも多くの方が興味をもってくれることを期待します。

【使用楽器一覧】

製作者	**［参考にした楽器のモデル］**
弥生の琴	Yayoi Koto　牧田啓佑（復元製作）［鳥取市青谷上寺地遺跡出土］
ハックブレット	Hackbrett　クレメンス・クライチュ Klemens Kleitsh
バロックサルテリオ	Salterio　小渕晶雄（復元製作） ［ライプツィッヒ楽器博物館 18 世紀後半 Catalog number 3114 at GRASSI Museum of Musical Instrumentas in Leipzig ］
ルネサンスダルシマー	Renaissance Dulcimer　小渕晶雄　復元製作 ［ドイツ国立美術館　Germanische National Museum 17 世紀］
中世ダルシマー	Medieval Dulcimer　製作者不明
プサルテリー	Psaltery　牧田啓佑氏　（復元製作） ［ドイツ・シュテーデル美術館所蔵 Paradiesgärtlein に描かれた楽器］
クラヴィシンバルム (打弦式)	Plucked clavisimbalum 久保田彰（復元製作） ［アンリ・アルノー設計図　Henri Arnaut］

【参考文献】

青山，一郎 .
2021　一冊でわかるピアノのすべて , 調律師が教える歴史と音とメカニズム . アルテスパブリッシング.

小川，貴久子 .
2009　カラー図解、ピアノの歴史 . 河出書房新社 .

笠原，潔 .
2004　埋もれた楽器、音楽考古学の現場から . 春秋社 .

金澤，正剛 .
2010　新版、古楽のすすめ . 音楽之友社 .

黒沢，隆朝 .
2005　図解、世界楽器大辞典 . 雄山閣 .

郡司，すみ .

1994　　琴 = Zither.　国立音楽大学楽器学資料館 .
野村，満男 .；野村，敬喬 .；柴田，雄康 .；久保田，彰 .
2013　　チェンバロ　クラヴィコード　関係用語集 . 東京コレギウム .

【写真・資料提供】
鳥取市青谷上寺地遺跡展示館　〒689-0501 鳥取県鳥取市青谷町青谷 4064

【協力】
CD「メランコリア」ALM RECORDS ALCD-2011 解説　金澤正剛　青木陽子
久保田彰チェンバロ工房（楽器提供）
故石井正樹（打弦楽器奏者 / 楽器提供）

【参考 HP】（2023 年 1 月 4 日閲覧）
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Assyrian_Harp_001.jpg
https://www.bl.uk/collection-items/melisende-psalter
https://www.automates-boites-musique.com/index.php?file=hiskintzing
https://collections.louvre.fr/en/ark:/53355/cl010106590
https://www.britishmuseum.org/collection/object/P_1996-1103-96
https://www.artic.edu/artworks/155251/the-music-making-couple
https://www.britishmuseum.org/collection/object/P_1996-1103-96
https://en.wikipedia.org/wiki/Henri_Arnaut_de_Zwolle

On March 10th, 2021, the Institute of Ethnomusicology, Tokyo College of Music hosted its second extension lecture in TCM Hall, which was given by Ms. Mikako Ogawa, a *hackbrett* player. During the lecture, Ms. Ogawa demonstrated several struck string instruments and discussed their significance as ancestors of the piano and shared her personal experiences with the audience. She also traced the evolution of instruments depicted in Western paintings and introduced a painting featuring a lute ensemble with a struck string instrument. To further enhance the audience's understanding of the historical context, an ensemble performance with lute player Shigeo Mito, who is a lecturer at the college, was presented. The performance showcased a reconstructed medieval dulcimer, a psaltery, a baroque *salterio*, a *hackbrett*, and other struck string instruments, as well as plucked string instruments, *clavisimbalum*-s with keyboard, and ancient Japanese *koto*.

* 本学教授、音楽学
** 打弦楽器奏者
*** 撥弦楽器奏者